

「市民参加懇談会 in 福岡」の概要

1. 日 時：平成17年9月26日(月) 13:30～17:00
2. 会 場：アクロス福岡
3. テーマ：「原子力と暮らし」
～ 知りたい情報は届いていますか ～
4. 出席者：
 - ・市民参加懇談会コアメンバー
碧海委員、新井委員、井上委員、小川委員、小沢委員、
中村委員(司会・進行)、東嶋委員、吉岡委員
 - ・原子力委員会
木元委員(座長)
(オブザーバー) 齋藤委員長代理、前田委員
 - ・パネリスト
読売新聞東京本社 論説委員 井川陽次郎氏
九州大学大学院工学研究院工研棟 量子工学部門教授
出光一哉氏
女性のくらし研究所 所長 大谷鮎子氏
NPO法人エコネットふくおか事務局長
小出まする氏
(参加者) 約160名
(プレス) 5社
5. 概要：
 - (1) 第1部 パネルディスカッション(約90分)を井川陽次郎氏、出光一哉氏、大谷鮎子氏、小出まする氏により行い、原子力についての知りたい情報は届いていますかについてご意見を伺った。
 - (2) 第2部 市民からのご意見(約90分)では、参加者(12名の方々がご発言)からご意見を伺うとともに、市民参加懇談会コアメンバー、パネリストからの応答を

交えて、活発な意見交換が行われた。

(第1部での発言の例)

- 1 . 知りたい情報は立場によって違う。情報を受け取る側としても適切な受け取り方が必要ではないか。
- 2 . 原子力発電所で働く人の姿を自分の目で見て安心した。
- 3 . 受け取る側も情報を待っているだけでなく、自ら図書館や電力会社等に取りに行くことが必要。
- 4 . メルマガ通信が非常に有効ではないか。
- 5 . オフサイトセンターの方と地元との住民の交流が必要である。
- 6 . 情報を正確に伝えようとしすぎると難しく理解してもらえなくなり、分かりやすく伝えようとする正確さにかける。マスメディアからの情報発信は、すべての人の理解度が揃ってないので、万人にわかるように説明がしにくい。
- 7 . プルサーマルの新聞記事を例にとって、全体像が分かっている人には、部分、部分のピースを集めれば全体像が見えるが、それだけを見ると全体像が見えなくて、このピースの意味が分からない。その補完のため講演会を開催している。
- 8 . 「環境」がテーマの講座を開くと定員以上の人が集まるが「原子力」がテーマの講演では人が集まらない。聞き手が何を聞きたいかつかまないといけない。
- 9 . 国が国民に原子力発電についての意見を公募したとき、Q & Aの冊子にその意見が載っていなかった。返事が無くがっかりした。時間がかかっても、答えが欲しかった。
- 10 . 自然エネルギーをもっと活用していくべき。便利な暮らしを豊かさある小さな暮らしにできるかを考えることが必要。
- 11 . 「知りたい情報」について、何が知りたいか分かるの

が非常に難しい。何が分からないが問題設定することが重要であり、それができれば、後はすっきりする。

- 1 2 . マスコミは、本当に必要な、知っておくべき情報を新聞等で紹介することが役割であると思う。
- 1 3 . 学者は答えるのが下手。役所の情報は古く最新の情報に対応していない。その中で、これを知りたいという人を増やしていきたい。
- 1 4 . 知りたいということが分かったとしても、知りたい人と知らせたい人がかみ合わないといけない。
- 1 5 . インターネット等の情報が常に更新されていることが必要。
- 1 6 . 情報を伝える立場として、どこまで公開して良いのかわからない。同じ記事においても、受け取り側で安心・危険のとらえ方が違う。
- 1 7 . 新聞によって伝え方が違う。大した量でもないのに1億倍等と書くとすごいように思える。伝える側が先回りして答えられる体制が必要。
- 1 8 . 知りたい情報は届けましたというフォロー体制が必要。
- 1 9 . 何が知りたいかというのを提起してくれる参加者が多い事が色々な層の人に参加してもらえて、建設的な議論ができる。

(第2部での発言の例)

- 2 0 . 原子力のことについて知る機会がなかったため、原子力のメリットを知らなかった。事業者は情報を出しているけど、伝わってこない。
- 2 1 . 世の中の半分以上の人が原子力をよく理解していない。危険であるという情報で、不安になるという人に関心を持ってもらうことが必要。興味のない人たちに興味

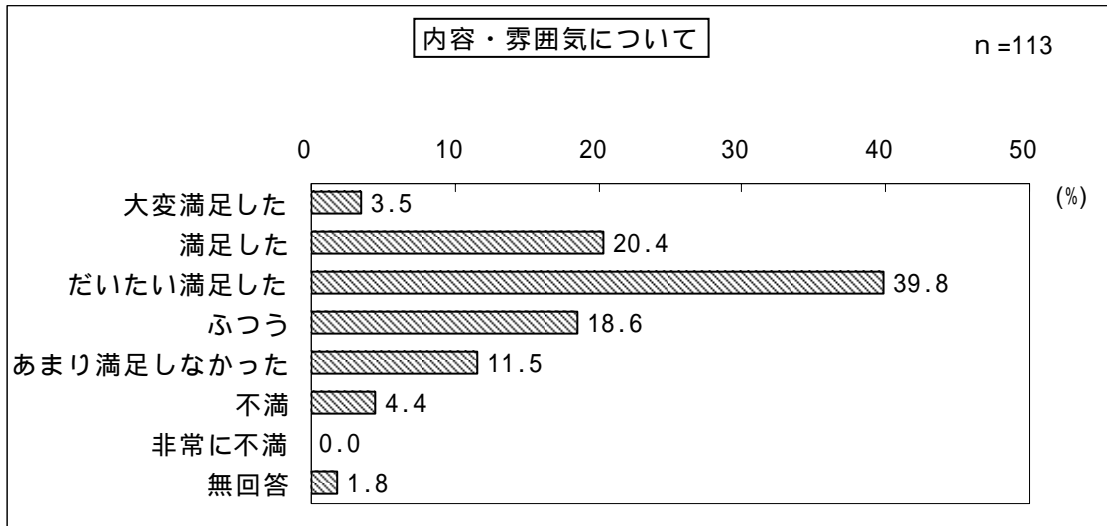
- を持たせる最初の第一段階の機会のきっかけ作りが必要。
- 2 2 . 昔は原子力のことを知らなかったが、チェルノブイリの事故から勉強するようになった。電気は原子力発電所からではなく、ウラン鉱山からの取り出しから廃棄物になるまでの一連についてクリアにして欲しい。
 - 2 3 . 原子力委員会に核燃料サイクルに関する意見書を出したが、質問に答えて頂けなかった。
 - 2 4 . 原子力のことを子供に教えるためにインターネットで検索するが、ヒットする数が多すぎて目的にたどり着かない。個々のトピックスは詳しく記載してあるが、原子力全体に書いてある情報は少ない。原子力に手の届く情報が欲しい。
 - 2 5 . 勉強するために、ネットでは情報が多すぎるので、直接電力会社の広報に聴いている。電力会社も教え方に悩んでおり、自分からこのような事を知りたいというと、スムーズに教えてくれる。
 - 2 6 . エネルギー問題は長いスパンで考えるべき。
 - 2 7 . エネルギー問題は子供のうちから正しい知識を備えて、理解を深め、大人になったときに正しい判断が出来るようになって欲しい。
 - 2 8 . 原子力の事が全く知らない人たちに、このような活動をやっていることを、広く伝えられればよい。
 - 2 9 . 学校に役立つ情報を提供しているが、教職員が父母の顔色を伺っており、議論になるのを避けている。文科省にガイドラインを作してほしい。
 - 3 0 . 原子力発電の必要性や有効性、国の政策がどのくらいの人に伝わっているのかを考えると、残念ながら伝わってきていないところもあると思う。マスメディアの方にしっかりと伝えて欲しい。
 - 3 1 . オフサイトセンターでの災害シミュレーションの広

域情報が知りたかったが、そこにいる職員が操作出来なかった。

- 3 2 .使用済みMOXを国はどうしたいか明らかにすべき。バックエンド試算19兆円、それを全部再処理すると何十兆円になる。使用済みMOXについても、情報をオープンにして議論すべき。
- 3 3 .物事には必ず裏と表があるので、正しく情報を知りたければ、双方向コミュニケーションをする努力が必要。
- 3 4 .プルトニウム利用計画及び安全性の情報が届かない。

「市民参加懇談会 in 福岡」についてのアンケート結果

1. 本日の「市民参加懇談会 in 福岡」の内容、雰囲気について、あなたのお考えに最も近いものを番号に 印をお付け下さい。



その理由について

< 1 > 大変満足した

- さまざまな方からの意見、要望が聞けて大変参考となった。(40~50代)
- 意見を自由に言える。(20~30代 男性)
- 双方向の意見を出し合うとの発言は重要なポイントでしょう！情報開示のあり方と今一度考えてみる機会にしましょう！(60代以上 男性)

< 2 > 満足した

- 質問の時間は非常によかった。一般市民の方もそれなりに勉強してあるし、感心の深さを知った。(60代以上 男性)
- 意見が活発に出た。(40~50代)
- 市民が学習しようという気持ちになっていく事は素晴らしいと思う。(40~50代)
- 色々な方の想いについて聞かせていただき、ありがとうございました。(40~50代)
- コアメンバーが適時適切なコメントをはさんで非常にわかりやすかった。(40~50代)
- 多種多様な方々の意見が聞けて勉強になりました。(40~50代 女性)

2部はいろいろな意見が出てよかった。反対をされる方はよく勉強されていた。福岡でもプルサーマルに関する討論会を開催した方がよい。(40~50代 女性)

- 知らないことを知った。(40~50代 女性)
- それぞれの立場で求めている情報は何か少しわかった。このような機会はないため有意義であったが、届いていないのは何故か、どうすればよいか明確には出てこなかったが、必要な情報をどのように取りに行くのが大切。(40~50代 女性)
- 受け手と送り手の思惑は必ずしも一致するものではなく、どちらかというとなれ違うケースが多いだろうという印象を議論の中から受けた。送り手は一方的に情報を送るのではなく、受け手が直接欲するものを送るというやり方が効率かつ適切だと考える。これを考えられただけでも満足(20~30代 女性)
- 一般参加(市民)者の意見を取り入れて会場と一緒に進行している点。(20~30代女性)
- 自由に色々な立場から議論をされていた。(50代以上 男性)

< 3 > だいたい満足した

- 原子力に対してもっと関心をもつ必要を教えられた。(60代以上 男性)
- 原子力について反対派、賛成派の意見が一緒に聞けて参考になった。ただ「原発(げんぱつ)」という言葉のひびきが「ばくだん」みたいで非常に不快だった。
- 「原子力発電」と言ってほしい。(20~30代)
- 一般市民が思っている不安が聞けたから。2部だけでいいと思う。(40~50代)
- 第一部については、現在の情報提供がどのようになっているのか整理されておらず、ディスカッションがかみ合わなかった点がある。(40~50代)
- 情報が届いているかどうかテーマが限られていたという事には不満ではあるが、いろいろな意見が出て、とても勉強になりました。(40~50代)
- 様々な立場の意見が聞けたから。(40~50代)
- 正直ペースで皆さんが話をしていた。(40~50代)
- 多くの人の意見を聞けたこと。(40~50代)
- 多方面の考え、意見を聞ける事ができた。(20~30代 女性)
- 様々な立場の方の意見が聞けて、大いに参考になりました。(20~30代 女性)
- 懇談会というよりは、一方的に自分達(?)の意見(反論みたいなもの)を言う人がいて、多少不満を感じた。(20~30代 女性)
- 原発反対の人にも発言の機会が与えられ、その話が聞けたので。「情報が届いているか」という設問での懇談会は、パネリストが言われたように、知りたい情報が何かとわかっている人にしか判断できないので。(40~50代 女性)
- 他の方のいろいろな意見をきくことができた。(40~50代 女性)
- 普段あまり耳に入っていないが、行われている活動などを知ることができたから。(20~30代 男性)
- エネルギーは長期視点で考えていかなければならないが、そのような視点で考えてなく、ただ反対する意見があった。(20~30代 男性)
- 原子力反対の方の発言が多いのおどろいた。賛成の方、もっと発言を。(20~30代 男性)
- 原子力の裏側が少し見れた様な気がした。(40~50代 男性)
- 一般の方々の本音が少し聞けた気がする。(40~50代 男性)
- 情報発信側・受け取り側の歩み寄りなど、情報社会の中での情報の流れと情報の中身について考えさせられた。(40~50代 男性)
- 原子力への賛否両論、バランスよく聞けたことが参考になった。(40~50代 男性)
- 賛成、反対派双方の意見を平等に扱っていたので良かった。(40~50代 男性)
- パネリストの意見が今回のテーマに合っていなかったようだ。ちゃんと意見を(反対の)述べてもらいたかった。(40~50代)
- 自分の知らない問題点もあり、勉強になった。(40~50代 男性)
- いろいろな人がたくさんいる(自分と異なる)ことを見せつけられた今日でした。自分が知らないことも勉強出来てよかった。(60代以上 男性)

< 4 > ふつう

- 反対派の意見発散の場としか思えない。(40~50代)
- 進行の方がすごく客観的にスムーズにされていたので、全体がまとまってすごく聴講しやすかった。(20~30代 女性)
- テーマが「知りたい情報」ではなく「知りたい情報は届いていますか」という設定であったので、パネリストディスカッションも何か盛り上がりがなく感じました。(60代以上 女性)
- パネリストの意見に同じ。何かわからないかを知ることがはむずかしい。(40~50代 男性)
- パネリストの方の顔が見えた方が良いと思います。(座席が同じレベルなので、後席の方からはよく見えなかった。)(20~30代 男性)

< 5 > あまり満足しなかった

パネリストの方の話が具体性に乏しい。プロは「知りたい情報とは何か知ることが難しい」と言っただけでは、聞く側がウンザリ。(40~50代)

コアメンバーを最初から含めたパネルディスカッションをするのが良いのではないですか。(60代以上)

一部コアメンバーの方の話し方が上からの物言いに聞こえたから。(20~30代 女性)

一部の人だけが熱く語っていて、不平不満ばかりが聞かれた。今回のテーマとはあまりにかけ離れた話が多かった。もっと一般的な意見をききたい。(20~30代 女性)

本当に市民が参加できるよう開催の周知をもっと広くすべき。(20~30代 男性)

一方的(20~30代 男性)

コアメンバー全員の考え方が今回示されていない。

(20~30代 男性)

意見を述べるだけでそのフォローがどうなるのか分からない。(40~50代 男性)

もっと議論できる場を作るべき。聞くだけでは国の中立性が見えづらい。(40~50代 男性)

情報の伝達と受け方の議論で、原子力の本質に関する事がない。(40~50代 男性)

意見の内容が原子力反対の色が多く、本来の会ができてなかったと思う。(40~50代 男性)

知りたい情報が届いているか、どういう情報があるのかははっきり提示されていない。

(60代以上 男性)

< 6 > 不満

原子力委員会から情報が出されていない事に対して、何の反省もおわびもないから。

(40~50代)

お上に従えという集会ではないだろうと、『主催・内閣府』を承知で参加しましたが、

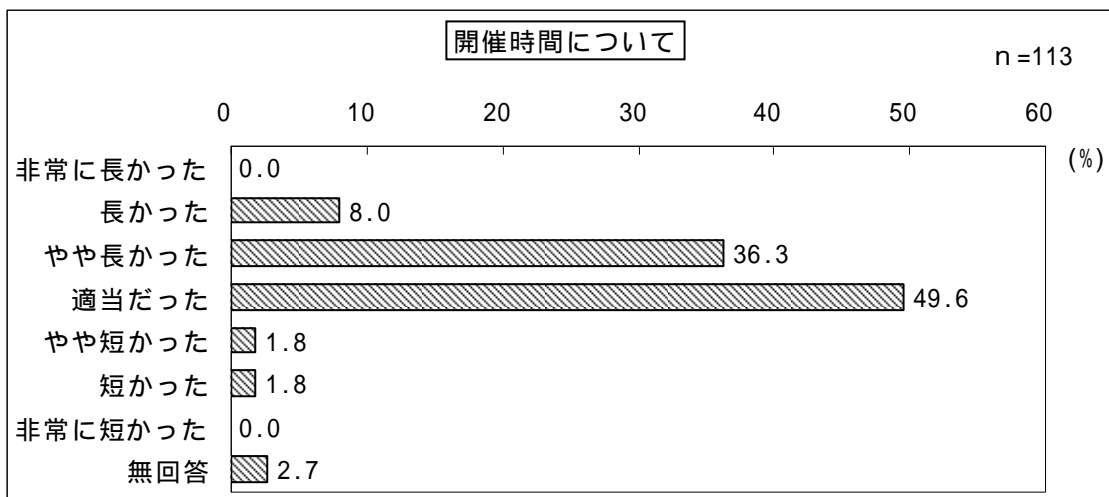
「出張」で来ている人が居た。反対の人の意見はとても参考になった。それを聞いた人がいるのでよかった。(60代以上 女性)

反対の事ばかりの意見であり、何故必要であるのかを意見としてパネリストが説明して欲しい(20~30代 男性)

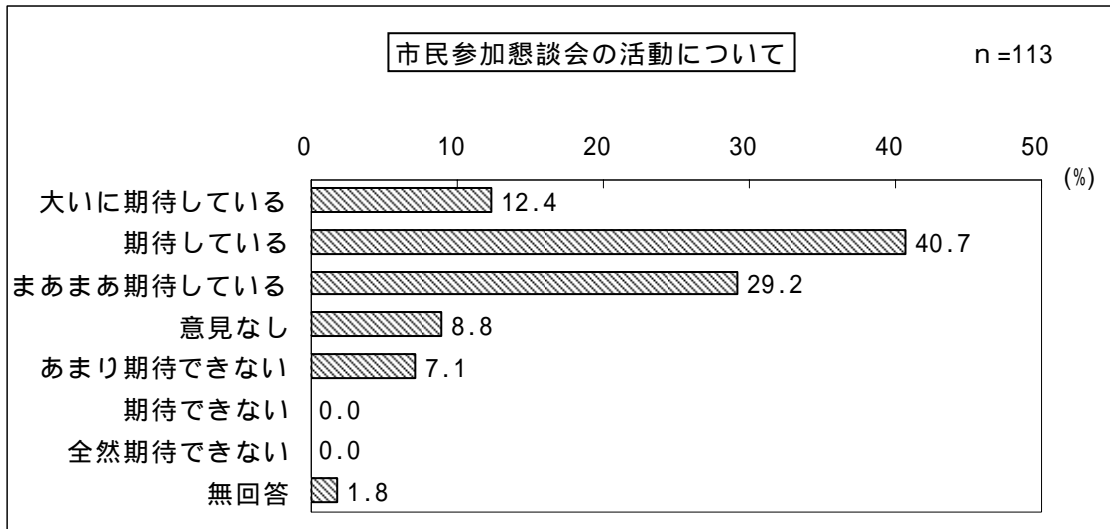
市民参加となっているが、原子力発電推進側のアリバイ作りのような気がした。原子力発電は段階的にでも廃止に向けて欲しい。(40~50代 男性)

目的がはっきりしない(20~30代 男性)

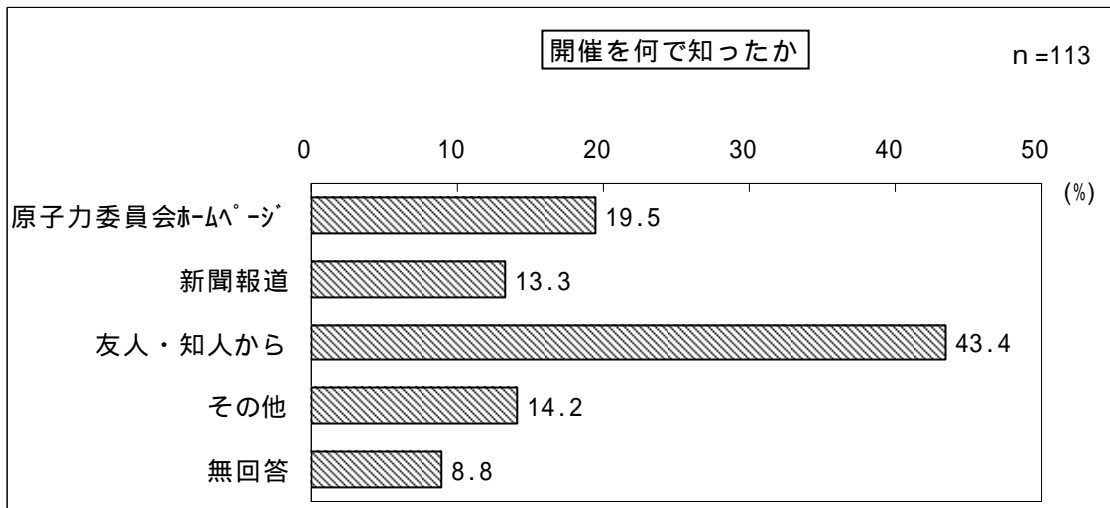
2. 本日の「市民参加懇談会 in 福岡」の開催時間(3時間半)について、あなたのお考えに最も近いものの番号に 印をお付け下さい。



3. 今後の市民参加懇談会の活動について、あなたはどのように思われますか。あなたのお考えに最も近いものの番号に 印をお付け下さい。



4. 本日の「市民参加懇談会 in 福岡」の開催を何でお知りになりましたか。



5. 本日の「市民参加懇談会 in 福岡」で、あなたにとって興味深かった意見や事項、その他お気づきの点などがあればお書きください。

< 市民参加懇談会について >

- 自分は原子力に対しあまり関心がなかった。触発されました。(60代以上 男性)
- 勉強をたくさんされている人がいるのに驚きを感じました。(20~30代 男性)
- パネリストの発言が新聞記者としての意見でとても関心が持てた。(40~50代 女性)
- プルサーマルに関する質問・意見に共鳴した。(40~50代 男性)
- 市民の率直な意見、希望が次々に発言されて良かった。3時間半という時間設定がよかったと思います。(割にゆったりした時間ということ)(60代以上 女性)
- 身近なものにするためどんどんこの様な懇談会を開催してほしい。(今回のアンケートの結果はどうなりますか。)(60代以上 男性)
- 原子力問題は日本だけでなく、将来的には地球規模の問題になっていくと思う。その為に日本も世界を指導していける立場になれるよう、今後もこのような市民参加懇談会を続けて

いくべきだと思う。(40~50代)

情報は双方のニーズに応えられるようにしていくことが大切だと思う。互いに受け入れる姿勢も必要と思う。今後是非続けて下さい。(40~50代 女性)

またこのような機会を設けて頂いて、たくさんの方(幅広い年齢層)が参加できるようにして頂きたい。(20~30代 女性)

女性の発言が多かったことは、懇談会を開催した意義が大きかったと思う。但し原子力に反対の立場の人が多かったと思うが。(40~50代)

「知りたい情報」はパネリストが言われたように内容には差がある。そのため万人を満足させるものは難しいのが現状である。情報がとどかないとなげくのではなく、自分から取りにいく姿勢が必要ではないか。原子力に限らず全てが国任せや人任せになっている気がして残念である。このような懇談会があることを初めて知ったが、政策に反映をしていただきたい。(20~30代 男性)

情報が届いているか否かだけでは物足りない。中味のある話し合いができるよう発展していくことを期待しています。(40~50代 女性)

不安をあおる事は考えものですが、安全安心の住いづくりを国民のレベルで議論が必要でしょう！地球レベルでの今後の懇談会をご検討されては如何でしょう！(60代以上 男性)

メリット・デメリットの説明をもう少しして欲しい。(60代以上 男性)

もっと詳しい説明もきける場にしてほしい。(40~50代)

反対意見のパネリストが必要。議論を聞きたい。(20~30代 男性)

中立の立場でコメント出来ない委員は外すべき。(40~50代)

中立な立場ですが、2部の話で反対派の人達が言っていることは不安をあおっているような気がした。推進派の人はもっとちゃんと説明すべき(反対派へ)と思った。ただ教育の中にはエネルギーと環境問題の必要(重要)と考える。(40~50代 男性)

この会の意味、位置づけが分かりにくい。意見を聞く場なのか？質問に答える場なのか？

意見を戦わせる場なのか？それが明確でないので、質問に答えていない場があったような気がするが。それで良かったか否かが判断つかない。(40~50代 男性)

このような「行事」が実際に行政に生かされているのですか。(60代以上)

反対派の人の発言に拍手する人がいたが入場のルールなど決めた方がよい。(40~50代)

この時間に出張扱いでこれるということは、うちわでおこもりでやってやったということにするのでしょうか。ただ深江さんという方の話をきけたのは良かったです。おどろきました。(40~50代)

非常に勉強した人が2、3人いたが、知識や今までの活動について一方的に言われるばかりだった。司会の方はもっと話をメンバーに振り分けてほしかった。(20~30代 女性)

本テーマと関係ない(反対派の意見)発言の場になっていた。(20~30代 男性)

2部の時、コアメンバーの方の態度が気になった。地位があるのは分かりますが、発言している方々に指をさして話されるのは、いかがなものでしょうか。(20~30代 女性)

平日(月曜)というのがやはり参加しにくい方もいらしたのではと思います。(40~50代 女性)

< 情報提供・収集のあり方について >

知りたい情報をインターネットなどで検索する際に、市民の立場に立って、知識のレベル、職種等により、教示内容を段階的に分けて提供する。(20~30代 男性)

「何が知りたいのか、それを知るためにはたくさん勉強しないとわからない」という意見に強く頷きました。興味のない大半の方に原子力発電のしくみ、メリット、発電方法等、原子力発電の基本的な事を周知、PRする必要があると思う。(20~30代)

国の役割、事情者の役割、個人の役割など、各々が認識して、今後真剣に情報発信、伝達、理解に取り組む必要があると感じました。(40~50代 男性)

知りたい情報...受取側から手を指し出す。知りたい情報が知りたい人に入る。(40~50代 男性)

興味がない人に興味を持たせる事からはじめる、しむけていく。知りたい事を知ることが難しい本当だ。(20代~30代 女性)

「知りたいことがあっても、問合せ先がなく、またネットでは情報がありすぎて分からない。」

ことを理解した。(40~50代 男性)

原子力に反対の立場の方々にはインターネットやメディアから発信される情報の中でネガティブな情報のみ盲信していて、ポジティブな情報を恣意的に排除されているようだ。このような半ばイデオロギー化した考えをフェアに戻すのは大変なことだと考える。真実に基づいた正しい認識をした上での議論が出来るといいのだが...意識的にセンセーショナルな発言は一般の人には危険だと思う。(40~50代)

原子力の情報は、事故が起きればすぐニュースになるが、一般的なメカニズム等の内容はとざされているのだなと思った。又、学校の教育の場では原子力の公平な教育はなされず、先生の一方的な考え方(危険である)をおしつけている状況であるのか問題であることを思い出した。(40~50代)

メディアが原子力の事故ばかりとらえないで、原子力のメリットも国民に伝えなければならぬのではないかと思う。これから地球規模で環境問題に取り組まなければいけないと思うと原子力はある程度リスクを伴うけれどもメリットもあると思う。(40~50代 男性)

マスコミの役割は事実を伝えることに加え、情報を整理することも重要な役割である。一般の人の指標をもっと活用してほしい。例えば被ばく量の議論があったが、数量よりレントゲン写真何枚分等(この表現では医療を受けなくなる人がでるから使わないの?)の表現の方がわかり易い。(20~30代 男性)

本日を含め、最近では情報を得る手段として「パソコンのホームページに詳しく~」と言われることが非常に多いのが気になります。パソコンを使用していない私は社会から外れた者かと思ってしまう。パソコン・FAXを持っているのが当然との世相には納得できません。(60代以上 女性)

弱腰(頭垂れ)の原子力情報発信者から、攻めに転じるべき。(40~50代)

<教育のあり方について>

現場教師の方々の意見が伺えたことは良かった。将来を担う子供達への教育は大切。エネルギーの大切さ重要さをふまえ、長いスパンでの教育指導をお願いしたい。

(50代以上 男性)

やはり情報伝達は難しいもので、特に原子力分野を語るにはある程度の知識を要すると考える。そう考えると、学校教育にこの分野をある程度組み込む必要が今度あるのかと考える。(これまでの経験上、原子力に対して嫌悪感を示す人は、先入観のみで話をする為、議論ができない。幼い頃から正しい知識を提供する必要がある。)(20~30代 女性)

エネルギー、環境問題を教育の現場へ。(40~50代 女性)

教育のあり方(20~30代 男性)

環境とエネルギー問題を教育の観点でも必要であると再認識した。(40~50代 女性)

原子力に対する教育の充実化促進。知りたい情報は相手に直接ぶつけてとことん話し合う必要。(60代以上 男性)

教育の充実はまさにそう思う。大人の時期に得た知識ではすでに凝り固まっている部分が多いと思うので。幼少期に知識を身につけさせてほしい。あと意見を並立して報道できないものかと思った。(20~30代 男性)

環境とエネルギーの教育現場での情報提供を積極的に行うべき。(40~50代 男性)

教育現場への情報公開のありかた。HPでの情報公開のありかた。(20~30代 女性)

教育が浸透してない。(20~30代)

(願い)私は40代の主婦です。小学校の上級生からエネルギー、環境に興味を持つ時期に公平な立場で勉強している先生がきちんと教育をしてほしいと思う。子供が習ってきたことは、先生が「一番危ない発電所はどこでしょう」と質問があり答えは「原子力発電所」だったとのこと。危険であるかないかはいろんな勉強したあと、子供が判断することだと思う。

(40~50代 女性)

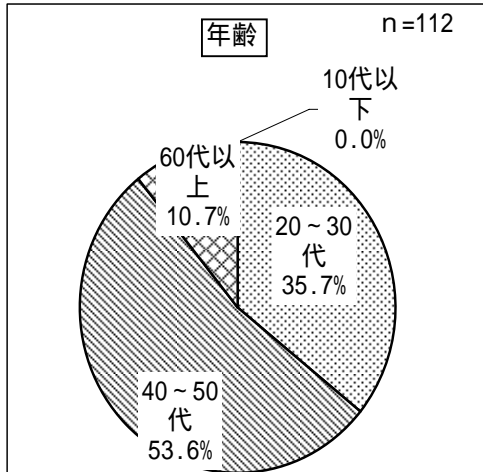
<その他>

原発は環境問題として考えるべきだと思う。原子力を平和利用できるとしても、放射能の怖ろしさをふまえた上で考え直すべき。原子力は破壊力として戦時開発されたものであり、そんな

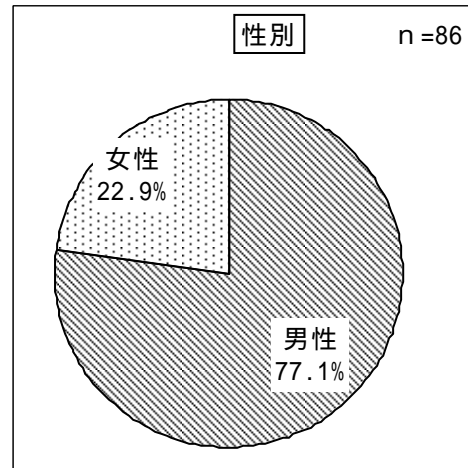
に簡単に平和のために利用できるものではない。その事を原子爆弾を製造した科学者(80代以上)の講演を会場又はテレビで聴き、その人達が熱心に戦後を平和運動に捧げる姿を見つめてきた。(60代以上 女性)

6. 差し支えなければお答え下さい。

(1) 年齢



(2) 性別



以上